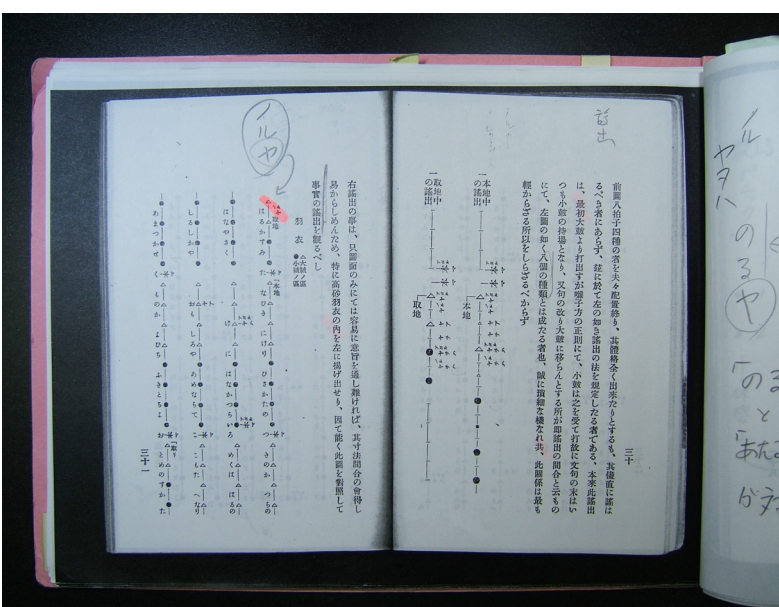
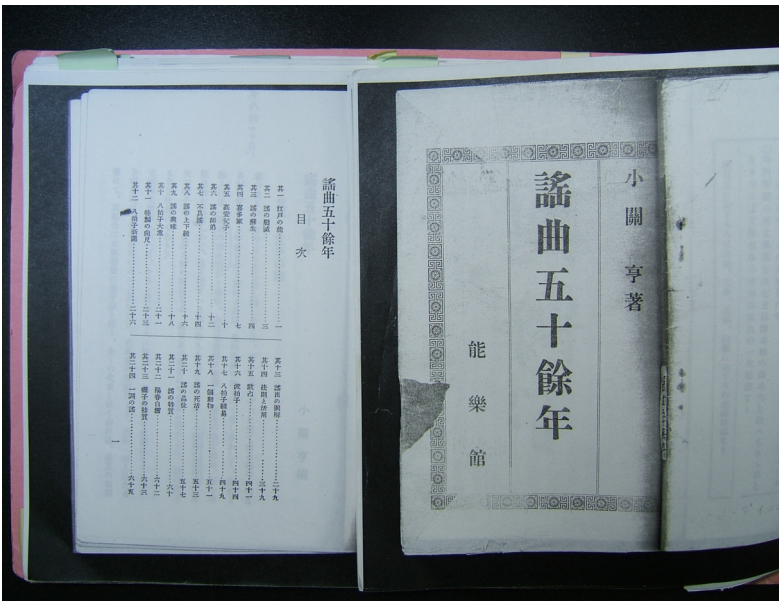


小関亨 『謡曲五十餘年』

著者は素人で喜多流。謡全般についての概説書だが、拍子について独自の新しい工夫を示している。たとえば、「八拍子新図」は、直線上に、拍を示す△や●を等間隔に配列したフォーマットである(写真下)。「師訓を記憶中より探り出して、ここに「新案図を製せり」と書かれているところから判断するに、黒丸を等間隔に並べ拍子の連続を示すやり方そのものが、さほど一般的ではなかったことを意味している。この他、シラブルを拍子から半拍はずしてうたう謡い方を「ノル」と呼んでいるのは興味深い。



標題 内題…謡曲五十餘年

標題紙…

奥附…謡曲五十餘年

その他…謡曲五十餘年(表紙・目次)

著者 奥附…小関亨

その他の場所…小関亨(表紙・巻頭)

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…能楽館

出版年…明治38(1905)

その他の場所…序文 明治36(1903)

形態 冊数…一冊 頁数…一七〇頁

寸法…

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…複写

備考 神戸女子大学古典芸能資料センター所蔵

の本を複写。